

誰のために愛するか (1971)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

初公開日 1971/04/01

【解説】

曾野綾子の同名エッセイ集をもとに鎌田敏夫が執筆した脚本を、井手俊郎が潤色し出目昌伸が監督した恋愛映画。原一民はこの作品での撮影が評価され、三浦賞を受賞した。

銀行員の宮井朋子は、課長から紹介されたエリート社員の高木隆一郎に交際を申し込まれた。故郷の甲府で居酒屋を営む母に会うため正月休みに帰省するが、母の窮状を目の当たりにしてショックを受ける。正月、朋子は幼なじみの元木敬介と再会した。敬介はすでに妻も子もある身だった。東京に戻った朋子は、隆一郎から下田にある実家に招待され、彼の家族に温かく迎えられる。翌日二人で石廊崎を訪れると、そこには水商売の女と戯れる敬介の姿があった。その様子を見て傷ついた朋子は、さらに敬介から転勤の話聞かされ…。

【クレジット】

監督 出目昌伸

製作 坂上静翁

金子正且

原作 曾野綾子

脚本 鎌田敏夫

潤色 井手俊郎

撮影 原一民

美術 村木与四郎

編集 武田うめ

音楽 池野成

出演 酒井和歌子

加山雄三

森光子

赤座美代子

細川俊夫

中畑道子